

こぶし だより

働こう障害者も
SSKW
働けるんだオレたちも



最近人気の食パンが焼き上がりました！（けやき作業所）

CONTENTS

- ① 特集 事業計画 2P~3P
- ② トピックス 4P~5P
- ③ ふれんどパーク 6P
- ④ こぶしサポーターズ 7P
- ⑤ アドレス・編集後記 8P

No.320

2008

4

平成20年度 社会福祉法人こぶしの会事業計画

特集



—第2次中期計画(4年度)を推進し障がいある人の願いを実現しよう—

3月23日、とちぎ福祉プラザにおいて、第17回評議員会、第110回理事会が開催され、平成20年度社会福祉法人こぶしの会事業計画と、予算及びその他の議案が承認・可決されました。以下、その概要をお知らせします。

平成20年度 社会福祉法人こぶしの会事業計画のポイント

「社会福祉法人こぶしの会第2次中・長期期計画のための提言」を受け、すでに、3年が経過しました。この提言は、内外の情勢を踏まえ、2005年度を初年度とする3か年間の中期的課題として提言されたものです。

こぶしの会は、この提言を全面的に支持し、その具体化を進めましたが、設定された3か年間は、2006年10月に障害者自立支援法が施行され、この対応に明け暮れた3年間でもあり、長期計画の各課題をもった常設委員会を設置したものの、自立支援法対策委員会となってしまいました。

今年度は、本格的な中期計画実践の第一歩の年として位置づけ、事業を推進するための事業計画であることが特徴です。

現在のこぶしの会は、提言策定時と比較し、真岡地区の地域活動支援センターやグループホームの増設(4ヶ所増)等の事業の増加、それに伴う利用者増(200人)、職員増(70人)、また、質的にも本年度より就業・生活支援センターを受託する等、県央・東地域の障がい者福祉のさらなる重要な役割を果たしつつあります。

また、発足30年を超過し、利用者・家族の高齢化や地域福祉の追求によるニーズの多様化等、対応すべく支援技術の高度化やきめ細かな社会資源の整備、管理職員の次世代へ交替時期を見通した人事管理、法人理念を確立し、職員・利用者、後援会、地域関係者が目標を共有し、その実現に力を合わせるための法人の調整・政策力が強く求められ、本計画は言はばその変革への計画です。

1 平成20年度 社会福祉法人こぶしの会本部事業計画

1. 理念の策定

一年をかけて社会福祉法人こぶしの会としての理念の文言、項目を検討し提案します(事業・財政計画委員会)。

2. 重点課題と基本目標

①法人の全職員の力をあわせ、理念を実現できる組織づくりをすすめます。

②豊かな施設環境づくり

こぶし作業所の建設、芳賀町地域生活支援センター、精神障がい者の新事業の設置をすすめます。

③障がい者の生きがいある生活の3つの場(日中活動、居住、文化・生きがいづくり)と地域生活調整支援等を実現します。

④職員の処遇改善を図ります。

3. 具体的計画

(1) 理念とビジョンを実現する法人・組織づくり

最優先課題として、こぶしの会に関わる全職員・利用者、関係者が、力をひとつにできるような法人の組織をつくっていきます。

具体的には、法人職員の専任化による法人機能の強化と常設委員会、プロジェクト、担当者会議の有機的協働による全職員参加の事業運営を追求します。

また、自立支援法への事業移行による公的資金減、施設建設補助金削減、地域福祉事業活動の充実に伴う、法人財政の再建と、財政再建を、こぶしの会の財産である後援会・保護者会の力をいただき、成し遂げていきます。

【収入源の方策例】 ア) 高齢者施設・事業を実施し、運営の安定化をめざす。

イ) 後援会活動と資金活動の見直し

ウ) こぶしの会への帰属(一体)感を感じる資金活動の創設

エ) 法人による財務マネジメントの強化

(2) 豊かな施設環境づくり

①こぶし作業所の改築と機能の拡大

②各地域の共同生活住居のあり方の検討と設置

③精神障がい者の社会資源の整備

④社会的就労の場の確保のための多彩な挑戦と作業・就業条件の改善

⑤就業・生活支援センターとジョブコーチ、就労移行事業、授産施設が連携し、就職活動を促進する。

(3) 生きがいのある生活づくり

①重度・重複障がい者の日中活動の充実

②余暇・文化活動の充実

③利用者、職員、家族、地域が、ともに生きがいの持てるコミュニティづくり

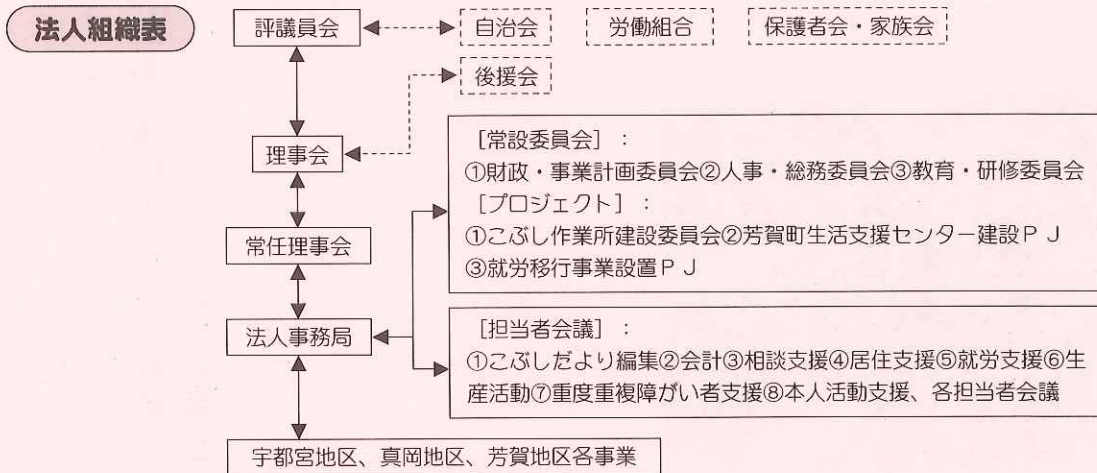
(4) 地域の中で生涯暮らすことのできるシステムづくり

①こぶし作業所の建設の中で、あるべき法人拠点機能(地域の中で生涯暮らすことのできるシステムづくり)を検討し、コミュニティソーシャルワークの技術開発と、多機能型施設整備を見通した計画を検討する。

②栃木県東・宇都宮地区障がい者就業・生活支援センターの受託を機会に、宇都宮(こぶし作業所生活支援センター)・県東地域(芳賀地区障害児者相談支援センター)の生活支援センターと連携し、本格的な相談機能を展開する。

③地域福祉関係機関とのネットワークと外部団体との連携と協力

④地域ボランティアの組織化等福祉コミュニティの形成



平成20年度 社会福祉法人こぶしの会会計予算の概要

単位：千円

科 目	総 計	就労会計	一般会計	公益会計	収益会計
就労支援事業活動収支					
[収入合計]	63,196	63,196	0	0	0
就労支援事業収入	63,196	63,196			
[支出合計]	62,846	62,846	0	0	0
就労支援事業支出	62,846	62,846			
就労支援事業活動資金 収支差額	350	350	0	0	0
福祉事業活動収支					
[収入合計]	391,969	282,300	92,644	16,629	396
支援費・補助金収入	368,596	267,436	84,536	16,624	
寄付金収入	2,220	2,190	30		
雑収入	7,288	4,725	2,162	5	396
会計・経理間繰入金	13,865	7,949	5,916		
[支出合計]	385,298	274,103	95,085	15,714	396
人件費支出	265,144	192,617	60,799	11,728	
事務費支出	55,179	39,399	11,816	3,953	11
事業費支出	50,625	29,764	20,828	33	
その他の支出	14,350	12,323	1,642		385
福祉事業活動収支差額	6,671	8,197	-2,441	915	0
施設整備収支					
[収入合計]	1,660	1,660	0	0	0
施設整備費等寄付金	1,660	1,660			
[支出合計]	6,499	5,799	0	700	0
固定資産取得支出	6,499	5,799		700	
施設整備資金収支差額	-4,839	-4,139	0	-700	0
財務活動収支					
[収入合計]	2,382	2,382	0	0	0
積立預金取崩収入	2,382	2,382			
[支出合計]	5,699	4,457	1,049	193	0
借入金還元金支出	2,661	2,009	652		
積立金積立支出	3,038	2,448	397	193	
財務活動資金収支差額	-3,317	-2,075	-1,049	-193	0
当期資金収支差額	-1,135	2,333	-3,490	22	0
前期末支払資金残高	103,729	87,667	15,598	464	
当期末支払資金残高	102,594	90,000	12,108	486	0

【注】 ※一般会計：グループホーム・ケアホーム会計、県東ライフSC会計、生活介護事業会計、相談支援事業等
 ※就労支援会計：法人会計+こぶし作業所、けやき作業所、第2けやき作業所、セルフ・みらい
 ※公益会計：就業・生活支援事業会計、日中一時事業会計

トピックス

Topics

セルプ・みらい 第14回ふれあいボーリング大会に 参加しました

三月五日(木) 栃木県知的障害者育成会主催「ふれあいボーリング大会」にセルプ・みらいから、四名が参加しました。会場の宇都宮第二トヨボウルに入ると、第一レーンから隙間なく参加者が座っていて、「今からボーリングだ!」という雰囲気会場に広がっていました。開会式が終わり、セルプ・みらいの仲間たちも、決まった順番通りに投げていきます。ノーガーターの部でした。そのノーガーターの上にボールが入ってしまったり、途中でボールが止まったりと一筋縄ではいきませんでしたが、優しいスタッフが



「がんばるぞ!」

親切に対応してくれました。参加した仲間達もそれぞれに全力投球し楽しいひとときとなりました。

感想

○楽しかった。ちょっと失敗したけどスベアがとれた。賞品がもらえて嬉しかったです。

(木藤 優衣)

○やりました。ストライクをした。

(阿久津 崇久)

○楽しかった。お菓子食べた。

(横山 惟久)

○難しかった。また挑戦したいです。

(園部 綾子)

11月作業所

嗜好調査

こぶしでは、年に一度嗜好調査を行っています。新しく入所された方がいることや年齢とともに嗜好の変化が生じてくるため、今年も調査項目が一一と多めでしたが、利用者の皆様全員から回答を得ることができました。

調査の結果をいくつかピックアップしてみました。まず、「牛乳を飲んでいますか」の問いに対して「毎日飲んでいる」が全体の約四分の一でした。飲まない人の理由のところには、どうしても飲めないが、牛乳に代用する乳製品を食べている

など工夫している内容が記入され、飲まない人に関しても、一日に必要な摂取量の乳製品を摂っていることが伺えました。次に「朝食は食べていますか」の質問では、全員が「朝食を食べる」という回答でした。朝食抜きの人が増えている昨今ですが、こぶしのご家族は、朝食をしっかりと摂られ、大変素晴らしいことと感心しました。また、

「家庭で調理される場合の野菜などの食材は、どのくらいの大きさにカットしているのか」という問いでは、大きさを文章で表現するのは、難しいので、三段階にカットした野菜を写真にし、選択して頂きました。給食でも、その人に応じた大きさで提供しておりますがご家庭での食材の切り方を知ることで、さらに個別対応のできる調理となります。「好きな野菜や料理」、「嫌いな野菜や料



理」ではたくさんのお返事を記入して頂きました。
今回の嗜好調査は、利用者の皆様一人ひとりの食に関することが把握できる、大変貴重なものとなりました。ご協力ありがとうございました。

県東ライフサポートセンター・ほっとCHA・真岡
県東ライフサポートセンター
合同旅行

三月二二日、県東ライフサポートセンター・ほっとCHA・真岡合同で大洗旅行へ行きました。今回の旅行の目的は

「ほっとCHAと真岡の親睦を図る」「おいしい魚を食べに行く」「水族館でイルカショーを見る」この三つが主な目的でした。

九時に真岡を出発し、まずは大洗の魚市場へ。高速道路を使うと一時間半くらいで到着できるとにみんな驚いていました。魚市場でそれぞれ好きな店に入って昼食、さすがに漁港の中にあるだけあって新鮮かつひとつひとつのネタがとても大きいものばかりでした。中には一皿五〇〇円以上もする大きなお寿司を手取る方もいて、「ちよ、ちよと待った、お金大丈夫？」と一緒に買ったスタッフがひやひやすることも。おいしいお魚を食べた後は魚市場でお土産探し、何度も来たことがある方は、市場でもすつかり常連で、次々にお

魚を値切って買う場面もありました。おなかも膨れて、お土産も買ったところでメインのイルカショーを見に水族館へ。少し時間が押し迫ってしまいい、ゆっくりと見ることは難しかったです。イルカショーが始まると、みんな喜んでいました。ショーが終わると「イルカ、頭いいね！すごいね！」と興奮しながらスタッフに話しかけてくる方もいらっしやいました。一日があつという間に過ぎてしまった旅行でしたが、参加した方々は皆楽しんでいた様子で、帰りの車内でははしゃぎすぎたのか眠っている方もいました。次もまた楽しい旅行ができるといいですね。

けやき作業所

五〇〇個完売!!

三月一日、芳賀町生涯学習センターにて「第三回生涯学習まつり」が開催され、けやき作業所のパンを販売に行きました。当日は利用者五名・職員四名・ボランティア一名がパンの焼成・袋詰めから販売まで一手に引き受け意気揚々と出かけました。ところが着いたとたんに突如の雨。テントを慌てて建て販売開始。お客さんは地元の老人会を中心に「けやきのパンはおいしいんだよね」と言ってたくさん買ってくれました。一時間もしな

うちに約五〇〇個のパンは売り切れ。「もうないの？」と色々な方々に言って頂きながらの販売でした。



ゲームがすき



セルブ・みらい
鈴木 貴大

僕の好きなことはブレーステーション2のゲームをやることです。好きなゲームソフトは「かたまり魂」です。内容は、かたまりを転がしてビルや人間、動物を巻き込んで星を作るゲームです。おもしろいですよ。

佐藤 イチさん お元気で

by セルフ・みらい

セルフ・みらいで最高齢であった佐藤イチさんが、3月15日の出勤を最後にみらいを退所することになりました。お別れ会では「たくさん棒を折ってくれてよかったです」「『ケンちゃん、コーヒー』と言ってコーヒーを飲んでいたイチさんがいなくなってしまうのは、さびしいです」など仲間たちの言葉に、イチさんがみんなの心に溶け込んでいたかが伺われました。



▲ いつまでもお元気で

ふれんどパーク



▲ ももいろの桜の木のちぎり絵

by けやき作業所 (生活介護)

第1回 おみせやさんコンサート

by こぶし作業所おみせやさん「くるぶ」

3月26日、午後のひと時をこの音色につつまれながら、お客さまにケーキとコーヒーを楽しんでいただきました。

ミニコンサートの後は琴の弦に触れての体験もあって大盛況でした。



こぶしSupporters

サポーターズ

後援会 保護者会・ボランティアのページ

～ こぶしの会を地域の大切な社会資源に育てるため、私たちは強力にバックアップします～

真岡北陵高校実習生に大いに学びました (けやき作業所)

けやき作業所に3月6・7日真岡北陵高校から実習生が6名やってきました。弁当班とパン班に1日ずつ入っていただき、一緒に活動しました。実習生の皆さんは、利用者がこんなにも作業ができるとは思っていなかったようで、なぜ普通に働くことができないのかと不思議に思いますと口々に言っていました。反省会時に利用者の工賃について話をし、こんなにも作業のできる方がこんなにがんばっているのに工賃が低く、さらに利用料まで支払うことに対して、実習生が泣き出してしまう場面も。われわれが、普段あたりまえになってしまい、工賃のことについて考えていなかったことを反省会を通して痛感させられました。今回の実習では職員の方がよい勉強になったと思います。

防災訓練 (こぶし作業所)

去る3月25日(火)に、こぶし作業所で防災訓練を行いました。今回の訓練では、平石地区まちづくり協議会防災福祉ネットワークの活動の一つとして平石地区の方々にも参加していただき、利用者と一緒に作業を行いながら、普段の様子を見ていただきました。

「こんにちは～」「よろしくお願ひします」とお互いに挨拶をかわし、作業開始です。利用者は作業の説明をしたり、いろいろな話をしたり、一緒に作業ができてとても楽しそうにしていました。

そして、午後1時45分、「火事だ～」との職員の声で、防災訓練開始です。火災報知機のベルが鳴り響く中、平石地区の方々の協力もあり、みんな落ち着いて避難することができました。タイムは1分28秒と前回よりは早くなりましたが、外に出てから点呼が完了するまでの時間がかかってしまったのは反省点となりました。

訓練終了後、地域の方々の感想をお聞きしましたが、作業所でどんな作業をしているのかを知ることができて大変良かったという声が聞かれました。短い時間ではありましたが、地域の方々とかかわりを持ち、作業所のことも知っていただくことができたのはとても意義ある取り組みだったと思います。そして、今回の防災訓練をきっかけに、もっと作業所のことを知ってもらおうと、こぶしだよりを地域で回覧していただくことになりました。

今後も、こういった地域の方々と直接触れあえる取り組みができればいいなと思いました。地区の方々、ありがとうございました。

★保護者会お食事会★ (セルフ・みらい)

3月8日(土)、保護者会主催による食事会が、スパリゾート・Fujiにて開催されました。当日は大勢の保護者の方、仲間、職員が集い、様々な意見交換の場となりました。普段はなかなか顔を会わせることのない保護者の方や、いつも一緒に仕事をしている仲間が、各テーブルに



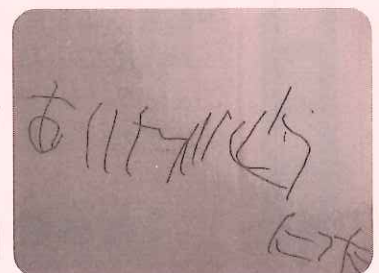
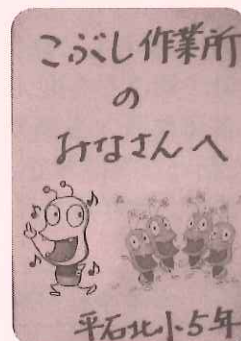
保護者会

座りワイワイと盛り上がり、種類もたくさんあるおいしい料理にみんな大満足!! アツという間に楽しい時間が過ぎてしまう、そんなお食事会となりました。

ありがとう (こぶし作業所)

平石北小学校5年生のみなさんが、今年も作業所体験と一緒に作業をしてくれました。

後日、素敵な感想文集をいただいたので、うれしかった気持ちをこめてみんなで返事を書かせていただきました。ありがとうございました。



社会福祉法人 こぶしの会

- こぶし作業所 ㊟321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
 ・知的障害者通所授産施設
 ・日中一時支援事業
 TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
 E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp
 TEL 028 (613) 5703
- こぶし作業所生活支援センター
 ・在宅障害(児)者の相談・支援
- こぶしのときわ荘 ㊟321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (667) 5531
- く る み ㊟321-0912 栃木県宇都宮市石井町字内野2867-3
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (664) 0414
- けやき作業所 ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
 ・知的障害者通所授産施設
 ・日中一時支援事業
 TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
 ・法人事務局
- 生活介護事業けやき作業所
 ・生活介護事業
- 第2けやき作業所 ㊟321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
 ・就労移行支援事業
 TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
 E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
- 県東ライフサポートセンター ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1704
 「ほっとCHA」
 TEL 028 (687) 0311
 ・地域活動支援センター
- 県東ライフサポートセンター「真岡」 ㊟321-4305 栃木県真岡市荒町3-9-5
 ・地域活動支援センター
 TEL 0285 (83) 2567 FAX 0285 (83) 2567
- すずらんの家 ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
 ・知的障害者グループホーム
 TEL 028 (677) 4430
- けやきハイツ ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
 ・知的障害者ケアホーム
 TEL 028 (677) 2876
- 第2けやきホーム ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4
 ・精神障害者グループホーム
 TEL 028 (677) 0776
- コーポ峰 ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井775-2
- セルプ・みらい ㊟321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
 ・知的障害者通所授産施設
 TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
 ・日中一時支援事業
- ぼてっと ㊟321-4364 栃木県真岡市長田字北原1451-2
- 芳賀地区障害児者相談支援センター ㊟321-4305 栃木県真岡市荒町110-1 市総合福祉保健センター内
 ・在宅障害(児)者の相談・支援
 TEL 0285 (80) 7765 FAX 0285 (80) 7765
- 県東・央圏域障害者就業・生活支援センター「チャレンジセンター」 ㊟321-4305 栃木県真岡市荒町111-1
 TEL 0285 (85) 8451 FAX 0285 (85) 8452
 ・障害者の就業相談・支援

本会の定款、事業計画、財務諸表等を閲覧ご希望の方は、各事業所までお申し出ください (閲覧時間8:30~17:00)

編集後記

寒かった冬も終わり、春らしい陽気になってきました。桜の花も各地で咲きはじめ、宇都宮では4月上旬に見ごろを迎えました。

新年度に入り、各事業所とも新たな気持ちでスタートを迎えたことと思います。こぶしだよりもまた新たな気持ちでより皆さまに楽しんでいただけるような記事を作っていきたいと思います。今年度もこぶしだよりをよろしく願います。

松本 裕生

編集委員

田澤 幸子 菊地 豊 松本 裕生 枝 雅紀 稲村 淳彦 星野 早苗

発行所 郵便番号 351-0033

東京都世田谷区砧六-二六-二一
 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円